

あわゆず ふれず

第26号 2013年2月28日発行

伝えよう日本語を
広げよう徳島から



J T M と く し ま
日本語ネットワーク

つながり広がったロータリークラブの支援の輪

2011年2月16日、徳島中央ロータリークラブ例会において卓話の機会をいただき、「誰もが社会とのつながりを感じられるようなチャレンジができる地域づくり」というテーマで、日本語支援活動をとおして、外国の人たちと助け合い、支え合い、高め合う関係を築いていきたいというお話をさせていただいた。そのときひとりのロータリアンの方が思いがけず「J T M に入会します」と声をかけてくださった。当時の会長エレクト（次期会長）の宮内邦寛さんだった。



2012年7月17日 徳島西ロータリークラブ例会
宮内邦寛さんによる卓話者紹介

宮内さんは、実際に日本語指導勉強会や月例運営会にも足を運んで活動や運営の様子をご自身の目で見てくださった。2011年7月に徳島中央ロータリークラブ会長に就任されると、他のロータリークラブにもJ T Mの活動を知ってもらおうと、徳島市内の8ロータリークラブと美馬ロータリークラブでの卓話の機会を次々と実現してくださった。それだけではなく、四国地区ロータリー財団委員会にもJ T Mへの支援を働きかけてくださった。

ロータリークラブは、200以上の国と地域に33,000近くのクラブを擁し、約120万人の実業人や専門職業人が会員同士の親睦や自己啓発を進めながら、世界や地域に奉仕していくことをめざしている団体である。例会にお招きいただくにあたり、ロータリークラブのことも

と知らなければという思いで、当時の国際ロータリー会長のカルヤン・バネルジー氏（インド）が会長エレクト当時、国際協議会で行った講演の記録を読み解いてみた。

「一番得意とすることを継続し地域を育む活動を続けていけば、本当に大切なことは誰かの必要を満たしてあげたいという意味であると気づく」、「現状に満足せず、改善できること、変えるべきこと、始めるべきことに目を向ける」、「果たすべき役割に全力投球し、やるべきことは必ず成し遂げると自らに誓う」、「自分が定めた目標に向かって、一步一步、自信を持って進む」・・・驚いたことに、そのスピーチにはJ T Mの活動をとおして獲得した理念や考え方、実践に相通じる内容が散りばめられていた。

ひるがえってJ T Mの活動においては、「専門性を高める努力を怠らず、納得のいく次の一歩が踏み出せるよう、会の内外において力と方向性を合わせるプロセスを大切にし、粘り強く取り組んでいく」、「必要とされることは必ず成し遂げられると信じる」という実践や信念をメンバーと共有してきた。2005年に「県内在住外国人の意識調査」を行ったことも、現状に安住せず先入観を捨てて何をすればよいのかを今一度知る必要があると感じたことがきっかけであった。

ロータリークラブとの出会いは、J T Mの活動の意義や役割を見つめなおすまたとない機会を与えてくれた。そのことはこれまでもまして地に足をつけて活動に取り組む原動力になるものだと感じている。

宮内さんとのご縁から始まった支援は、徳島ロータリークラブ、徳島プリンスロータリークラブ、徳島中央ロータリークラブ、徳島西ロータリークラブ、そして、四国地区ロータリー財団委員会より日本語学習のための機材や教材の支援の輪としてつながっていった。たくさんの出会いや巡り合わせ、人と人がつながる物語も生まれた。

外国の人たちにとって、日本語を習得することがどれだけ日本社会の一員として生きていくうえで大きな自信につながるかということを考えるとき、この度の支援はどれほど大きな励みになったことだろう。この場を借りて限りない感謝の気持ちをお伝えしたい。（J T Mとくしま日本語ネットワーク会長 兼松 文子）

日本語 サロンに来て 思うこと



日本語サロンは県徳島国際交流協会で月曜日の10時30分から12時まで開いています。
会話やテキストを使った学習などを行い、毎週たくさんの人でにぎわっています。
その感想を聞いてみました。

- マンツーマンで話ができるので自分のレベルに合った日本語が勉強できます。今はとても楽しくて毎週が充実しています。ここへ来ることで他の外国人と情報の交換が出来るし、母国語が使えるのがいいです。日本語が上手になったら、翻訳の仕事、日本企業などを考えています。日本語ができると毎日、生活がスムーズになります。徳島の方は親切で、住みやすいです。でも阿波弁はわかりません。
(イギリス 女性)
- 私は日本へ来て約2年、夫は日本人です。夫と上手に日本語で会話をしたいです。また施設でヘルパーの仕事をしているので、入所者とも自由に日本語を使って話したいと思い、日本語サロンに来ています。日本語は難しいですが、先生がやさしく教えてくれるので、日本語がおもしろいと思うようになってきました。
(中国 女性)
- 来てよかったです。漢字もたくさん覚えたいし、会話もできるようになりました。でももっといろいろなことばを勉強して上手な日本語を話したいです。大学へ行きたいです。ビジネスがしたいです。そしてお金も稼ぎたいです。
(フィリピン 男性)
- ここにはたくさんの方がきていますが、マンツーマンで日本語が学べるので助かります。日本語の勉強を始めたばかりなので、英語でコミュニケーションがとれるのがいいです。お店に行っても、私の言うことが分かってもらえないので、日本語を勉強して、話せるようになって生活できるようにしたいです。
(ポーランド 女性)
- ここはとても楽しいです。一対一で、丁寧に教えてもらえるところがとてもいいと思います。全体の雰囲気もよく、日本語を楽しんで学ぶことができます。これからも日本語の勉強をがんばりたいです。
(アメリカ 男性)
- 日本語を勉強するのが楽しいです。会話でいろいろなことを知ったり、まだあまり話せないのですが、自分でことばを考えて話すのが楽しいです。そしておもしろいです。日本語の発音は難しくないです。もっとたくさんことばを知り日本語を上手に話したいです。
(モンゴル 女性)
- この日本語サロンを気に入っています。遅くても着実に学んでいます。だんだん楽しめるようになってきました。将来を楽しみにしています。キリストの教えを広めるのが私の使命なので、もっと日本語が上手になったら日本人たちに聖書を教え広めたいです。
(トンガ 男性)



- 日本語サロンは人が多いのにびっくりしました。楽しいです。そして有意義です。会話ができるのが楽しいです。毎日の生活に日本語を活かしたいです。徳島に住みたいです。
私の仕事は翻訳と歌手です。私はスウェーデンに在住30年(30歳まで)、イギリスに20年、フランスに4年、デンマークに2年、ドイツに半年住んでいました。時間があればポルトガル、エクアドル、ボリビア、南アフリカへ旅行したいです。
(スウェーデン 男性)

徳島で暮らし、働く外国人のための 日本語講座が開かれました。

場所 ● ヒューマンわーくびあ徳島

主催 ● (社)徳島県労働者福祉協議会

「就職のための日本語講座」

H24・5月16日～7月11日

受講生 中国4名 フィリピン4名

この講座では「頼む」「許可をもらう」「仕事について話す」「相談する」「意見を述べる」など職場での会話や語彙だけではなく、「あいさつの基本」「敬語の使い方」「電話応対」などのマナーについても学びました。

「介護の日本語講座」

H24・9月4日～11月1日

受講生 フィリピン10名

この講座では「朝の体温測定」「食後の服薬」「衣服の着脱」「日常の声かけ」など介護の現場に必要な語彙や利用者に対する声のかけ方や心遣いなどを勉強しました。そして毎回漢字とカタカナの書き取りテストをしましたが受講生にとっては大きな課題でした。

この二つの講座では受講生とスタッフとの間で「あゆみ」という交換日記が付けられました。日本語の勉強ができる喜びや楽しさ、周りの人たちへの感謝の気持ち、そして難しい漢字にくじけそうな気持ちなどが綴られています。

●●●「あゆみ」より

- ・日本の漢字はすごく難しいと思います。一つの漢字でいろいろな意味があるから。勉強するほど難しくなっています。
- ・わからない言葉や読めない漢字がたくさんあってたいへんですが、楽しいです。
- ・宿題が難しかったので、子どもに教えてもらいました。
- ・仕事の面接の時にきれいな言葉を使いたいと思います。
- ・どんなに仕事が忙しくても毎晩10分だけでもテキストを見て勉強しています。
- ・だんだん講義が難しくなってきましたが、書ける漢字が増えてきました。
- ・仕事で疲れていても授業は楽しいです。
- ・今まで聞いたことのない言葉を覚えて書けるようになってうれしい。
- ・新しいことをたくさん覚えていきたい。

●●●「修了式の言葉」より

- ・みなさんに感謝しています。難しかったけどいっぱい勉強しました。これからも自信を持って勉強していきます。
- ・漢字の勉強はたいへんだったけど、みんなも同じだったと思います。一緒にがんばれるという気持ちがあったからできました。
- ・先生、仲間のみなさん、ありがとうございました。楽しい時間は終わりましたがまた会えることを信じています。
- ・短い間だったけどよかったです。漢字も楽しく覚えることができました。資格をとるまでがんばります。
- ・ロータリークラブのみなさんから、たくさんの教材を贈っていただきしっかりと勉強することができました。



初めのころは日本語の難しさへの戸惑いや不安な気持ちを表わす言葉が目立ちましたが、だんだんと「漢字は難しいけどがんばります。」「仲間と一緒に勉強できて、楽しいです。」「早く資格が取りたいです。」などの前向きな言葉に変わってきました。仕事、家事、育児の忙しい合間を縫って必死で取り組んできた受講生たちの努力があったからだと思います。そしてまた、今回の講座では各ロータリークラブの方々から、iPad、ヘッドフォン、パソコン、液晶テレビ、テキスト一式を贈っていただき、たいへん恵まれた環境で学習できたことも大きかったと感謝しています。

現在、講座の修了生のうち6名が介護ヘルパーの資格をとるためにがんばっています。彼女たちがこの徳島の地にしっかりと足をつけ、そして歩み出している姿に私たちはエールを送り続けていきたいと思っています。

(加村 匡子)

文化庁委託 平成24年度 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

にほんご寺子屋

子ども 教室

2011年6月から毎週日曜日の午後、トピアを会場に外国にルーツを持つ子ども達のためのにほんご寺子屋を開いてきました。教室は休むことなく開かれ、2012年7月から前年にひき続き文化庁の委託事業として継続して行っています。

今年度は特に体験学習を通して生活者としての力を養うことを目指し、徳島市立図書館や県立防災センターを訪ねました。

市立図書館では日本での図書館利用のルールを学び、自分のカードを作りました。各人が読みたい本を選び、職員の方とコミュニケーションをとりながら自分の力で借りることができました。母国語で書かれた絵本を見つけて大喜びする子や図鑑を手取る子、持ってきたかばんに入りきれないほど読みたい本を借りた子、ビデオ・パソコンコーナーに興味いっぱいの子と、それぞれが図書館での時間を満喫していました。

防災センター見学に向けては、1ヶ月前から防災月間として防災の言葉や知識を学び、より効果的な体験ができるようにしました。地震、火災、暴風、津波の各体験を通して自分の身をどうやって守るかを具体的に学ぶことができました。

そのほか絵本の読み聞かせや、紙芝居、伝承遊び、科学工作、クイズやゲームなど子どもの発達に応じて知ってほしいもの、触れてほしいもの、楽しんでもらいたいことなどを全体学習として取り入れてきました。

個別学習は、ほぼマンツーマンの対応が取れ、個々のニーズに合った効果的な学習を心がけています。

このように、外国にルーツを持つ子どもたちが文化の違いやことばの不自由さを乗り越え、自分らしく成長してくれるよう、支援する場として寺子屋が機能していければと思います。

(杜 美智)



親 教室

今年も文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業として、にほんご寺子屋「親教室」が12月2日に始まりました。去年と同様、学校に通う子どもを持つ保護者が、学校とかかわっていく上で知っておくとよいこと、困っていることを中心に毎週日曜日、「子ども

教室」と同じ時間に2月17日まで10回開催しました。昨年、一から考えたカリキュラムを今年はさらに手を加え、メンバーが手がけたイラストがたくさん入った教科書を作成中です。その作成中の教科書の内容を使って授業をしています。開催場所は、シビックセンター4階の新しくとてもきれいな教室で、快適に学習しています。

学習者は、昨年から来ている人に今年から来た人も加わり、好調な滑り出しです。皆、とても熱心に取り組んでいます。初中級レベルのクラスなので、学校の通知文等、語彙が難しく、難しいと感じた学習者は初級クラス(学校に特化していない初級クラスも設定)で勉強しています。

ただ、自作の教科書(昨年からの親教室の講師を中心に作成)ということもあり、我々の「こんな場面もこんな情報も知ってもらいたい」という強い思いが、各課の構成を盛りだくさんにしてしまい、12月に2回授業をした時点で授業時間内で全部やるのは無理だとわかりました。そこで、急遽、教科書の構成を変え、内容を減らしました。このように試行錯誤しながらではありますが、我々の「学習者のニーズに少しでも応えたい」という思いが、手作り感たっぷりの日本語教室を作っています。

(玉置 房)



2012年度
第1回
特別研修会

日本語学習支援者が知っておきたい eラーニングの活用方法

日時：2012年8月25日（土）13：30～16：00
場所：わーくびあ徳島2階
内容：日本語教育と関連したサイトの紹介
日本語教師の役割
実際にサイトを使ってみる

講師プロフィール

国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員

田中 哲哉 氏

新聞社勤務を経て2000年から国際交流基金関西国際センターに勤務。
海外の若手外交官などの日本語研修を経験し、現在はeラーニング
開発を担当。「日本語でケアナビ」、日本語学習ポータルサイト
「NIHONGO e な」の開発に携わる。

講師として田中哲哉氏をお招きし、特別研修会「日本語学習支援者が知っておきたいeラーニングの活用方法」が開催されました。田中先生は、看護や介護の仕事をする人たちを支援する日本語学習サイト「日本語でケアナビ」の開発者のおひとりです。

ネットを開けば、数え切れないくらいの情報があふれています。その中から、自分で自分に必要なものを探すにはかなりの時間と労力が必要です。研修会では、その中から厳選されたサイトをたくさん教えていただきました。その中のいくつかをご紹介しますと思います。すべて「NIHONGO e な」(<http://nihongo-e-na.com/>)で簡単に探せます。

【漢字 Associative Kanji Learning】 <http://www.sp.cis.iwate-u.ac.jp/icampus/u/akanji.jsp>

漢字の書き順を目で確認しながら、練習ができるようになっています。また、その漢字を使った熟語、例文がたくさん挙げられています。

【かな Hiragana and Katakana Trainer】 <http://tell.fll.purdue.edu/hatasa/QuickKana/>

画面に次々とスピーディーに現れるカタカナを読んでいくというゲーム性のある練習サイトになっていて、楽しみながら学習することができます。0.1秒から3秒まで30段階のスピードのレベルがあり、挑戦しながらレベルアップができるようになっています。

【かな Ultimate Kana Challenge】 <http://tell.fll.purdue.edu/hatasa/ultimate/>

たくさんのひらがなが画面上に現れ、自由に動き回ります。提示されたひらがなを早く探した人が勝ち。「右の上!」「左の下!」など位置を表わす言葉も同時に勉強できるようになっています。

【相づち:たのしい会話への鍵】 <http://www.sal.tohoku.ac.jp/nik/aizuchi/>

「うん」「はい」「なるほど」「それで?」などのあいづちの打ち方を練習できるサイトです。相手の話をきちんと聞いているというサインを出すことがコミュニケーションを上手に取るテクニックの一つです。

【アニメ・マンガの日本語】 <http://anime-manga.jp/>

登場するキャラクターによって「言葉遣い」や「声」が変わります。かわいい女の子や忍者になりきってスピーキングの練習をすることができます。



研修を終えて

研修の最後に具体的な学習者を想定し、その学習者に必要なサイトを使ってどんな支援ができるかをみんなで考えました。eラーニングの特徴である「音・視覚的・レアリア感・楽しさ・手軽さ」を実際に体験し、教材としても活用でき、また学習者が自習のためにも利用できることを実感しました。参加者からは「授業中に学習者と一緒に見ることができるともっと楽しく効果的に利用できるだろう。」「母国へ帰っても引き続き学習できる。」「学習者が自由に自分のスタイルで勉強できる。」などの感想が寄せられました。

紹介していただいたサイトはどれも楽しく、興味深いものばかりでこれからの支援に役立てていきたいと思っています。
(加村 匡子)

※本研修会は「徳島新聞社会文化助成金」の助成を受けて実施しました。

文化庁委託 平成24年度
「生活者としての外国人」のための日本語教育セミナー

第 1 回
「日本語教育を行う人材の養成セミナー」

日 時 ● 2012年11月17日 (土)

午前の部 9:00~12:00

午後の部 13:00~16:00

場 所 ● ヒューマンワーくびあ徳島

講 師 ● 徳島大学国際センター

ゲールツ三隅友子教授

参加者 ● 午前の部20名、午後の部24名

総参加者は25名

内 容 ● 午前 異文化コミュニケーション

午後 プロジェクトワーク

講師プロフィール



ゲールツ三隅友子 教授

- ・ 1990年神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了
- ・ 1994年国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員
- ・ 2000年徳島大学総科学部助教授となり2002年から同大学留学生センター教授
- ・ 現在は、留学生と地域との交流を図る「異文化理解教育」を進める一方、「アサーティブコミュニケーション」の講師として、病院や学校を中心に研修を行うなど多方面で活躍している。

午前の部

まず「文化」「異文化」という言葉の意味を問うところから始まった。三隅先生が講演をするという形ではなく、それぞれ4人ずつのグループで、自分たちの気持ちを話し合った。そして一人ひとりが自分の持っている「異文化」という言葉で連想することを挙げていくと、「異文化」は何も外国の文化を指すのではなく、自分以外をさすことがわかり、それぞれが違っているのだということ、違っているからこそ、お互いが見つめ、理解する必要があるのだということを学んだ。

その後、コックとして来日した中国人一家とその子どもが通う保育園での出来事を描くマンガ「プチッコホーム」を読んだ。参加者一人ひとりが別々の登場人物（中国人の父、子、保育士、日本人の父、子）になって読み、その人物になって話し合った。そうすることで、誰も悪い人はいないのに、思いがずれていくことがわかり、コミュニケーションを取ることの難しさを感じることができた。また、これから、私たちにできること

とは何かを考えるきっかけにもなった。

前半の最後には、2006年7月に開催された「外国人による徳島県日本語弁論大会」で「国際理解～外国人と出会ったら～」と題して行われたブータンのスイーゲイさんのスピーチを聞いた。スピーチの最後にスイーゲイさんが言われた「どの人も自分と同じように偉大な文化や歴史を持っている。そして、やはり優れた民族なのだ」と心にとめて対話してください。そうすればすばらしい国際理解ができるはずです。」という言葉で、改めてそれぞれの国の文化を理解し大切にしなければと思った。



午後の部

まず、「地域型日本語教育とは地域社会で行われるコミュニケーションを目指した日本語を使う場の設定である」という説明があり、国内の日本語教育は大きな流れとして、教育することから支援することへ、そして共生することへと変化していて、これからの地域型日本語教育は、生活しているみんながともに学習する協働学習であるとのお話に、これは、まさにJTMのこれからにとって大切なことではないかと思った。



次に、「プロジェクトワークとは支援する側が、知っている内容、知識を学習者へ注入する活動だけでなく、現実の様々な活動に即したタスク活動を行うことによって目標言語の習得と定着を図る学習活動である」といったお話を伺った。その一例として「美術館で日本語をきたえよう」というタスクの紹介があった。これは、大学の留学生が美術館へ出かけていき、作品を一つ選んで自分なりに鑑賞し、また美術館の指導員の解説を聞いてその作品に対する考えをまとめ、それを日本人に対して話すことで、日本語能力をあげることにつながるというものであった。また、ドイツの子どもに人気のあるテレビ番組を視聴して、小さな子どもにもわかるような形で、異文化理解教育が提示されていることも知る事ができた。

最後に「飴だま」とう新美南吉の作品を基にタスクワークを行った。結末を省いた文章を登場人物とト書きの部分を読む人に分かれ、9人から10人1組で読み合わせるというタスクで、そうすることによってさらに内容を深く読み込むことができたように思う。また、結末を考えたり、誰の視点で描かれているかといったことを考えたりしたことで、改めて、頭ではわかっているつもりになっていた、自分以外の人の視点に立つことの大切さと難しさを感じた。

このセミナーで、体験してみないと本当に理解するのは難しいと思うが、常に相手の立場をおもんばかり、接していかなければいけないということを感じた。そして、朗読劇や結末を考える活動など、にほんご寺子屋で実践したら子ども達がいきいきと取り組むだろうと思うものや、好きな絵や音楽を紹介し合う取り組みなど、日本語サロンでやってみたら、お互いをよく知り、理解し合えるようになって楽しいだろうと思えるようなものなど、これからのJTMの活動に生かせるヒントがたくさんあり、このセミナーで学んだことを実践し進めることによってさらに、お互いの理解が深まっていくのではと思った。 (長町 順子)

アンケートより抜粋

- ・日本に住んでいる外国人の気持ちになって考えることの大切さを改めて知りました。ブータンのスーゲイさんの心温まるスピーチをご紹介いただき、大変感銘をうけました。
- ・異文化というと外国文化という感じが強かったが、これはステレオタイプだということがよくわかりました。日本の中にも異文化があるということを知ることが再認識。
- ・マンガを通してそれぞれの立場に立って考えることの大切さを見つめ直せたのが新鮮でした。
- ・プロジェクトワークの組み立て方の1例と効果を知ることができた。
- ・日本語を教える目的の多様性や、実際の授業に役立つヒントをたくさん気づかせていただきました。
- ・今後の活動のアイデアを得ることができた。コミュニケーションについて改めて考える機会となった。
- ・にほんご寺子屋の中でできそうなことがいろいろ思い浮かびました。具体的には、今後いろいろ考えていきたい。新美南吉の作品の朗読も良かったです。寺子屋でいろいろできそうです。
- ・わたしはJTMに入会して数ヶ月たつのですが、あまり活動できていませんでした。それは知識も技能も自信もなかったからなのですが、これから自分がどういう風に頑張っていきたいかが少し見えてきたように思います。ありがとうございました。
- ・三隅先生の話は、理論ばかり話すのではなく、我々に考える時間、話す時間を持たせてくれ、多くのことを、気づかせてくれた。先生の実践を惜しげもなく披露してくれ、これからも日本語教育に携わっていききたい気持ちを持たせてくれた。

INFORMATION

◆会員数(2013年2月10日現在) 正会員数63名 協会員数2名
 ◆入会随時受付中! 正会員…会の活動に参加し、ともに運営を行います。
 協会員・団体…会の活動を支援する個人または団体

活動紹介

ブラッシュアップのために

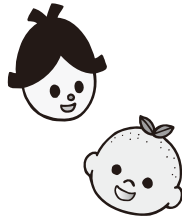
- ◇日本語指導勉強会
*毎月第2土曜日13:30~15:00
〈模擬授業と意見交換〉日本語に関心のある方
ならどなたでも参加できます。
- ◇教師グループ研修会
*毎月第3金曜日または土曜日
- ◇定例会 ◇特別研修会

日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン
*毎週月曜日10:30~12:00
徳島県国際交流プラザ

「にほんご寺子屋」

- *毎週日曜日13:30~15:00
徳島県国際交流プラザ



就職のための日本語講座

- *5月15日(火)~7月13日(金) (2012年度)

介護の日本語講座

- *9月4日(火)~10月31日(水) (2012年度)
ヒューマンわーくびあ徳島
主催 (社)徳島県労働者福祉協議会

徳島県アパレル縫製工業組合日本語集合研修

- *8月22日(水)~9月19日(水) (2012年度)

日本語レッスン

- ◇プライベートレッスン・グループレッスン
入門から上級まで、会話や日本語試験対策など
ニーズにあった学習プランで教えます。
- ◇詳しくは事務局またはレッスン専用メール
jtmtoke-lesson@mbk.nifty.com まで。

JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima

こんにちは とくしま

徳島で日本語を学ぶ人のために

本書は初級学
習者向けの教
材です。

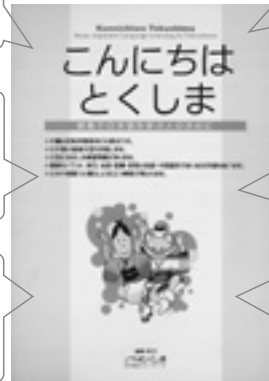
日本語の基
礎文型を学
習します。

文型に対応し
た練習問題が
あります。

イラストがたく
さんあり、わか
りやすいです。

日本や徳島の暮
らしに役立つ情
報が得られます。

会話と語彙、表現の英
語・中国語訳があり、
自習学習を助けます。



●ご購入、お問い合わせは…

- JTMとくしま事務局 または
- ✿ 紀伊国屋(そごう徳島店8F)
- ✿ 宮脇書店(クレメントプラザ4F)

ご支援をいただきました

- 徳島ロータリークラブ
「就職のための日本語講座」および「介護の日
本語講座」日本語テキスト、ビジネスマナーテキ
ストおよび漢字練習帳
- 徳島プリンスロータリークラブ
シャドーイングのための貸し出し用ヘッド
フォン15台
- 徳島中央ロータリークラブ
eラーニングのためのタブレット(iPad)3台
- 徳島西ロータリークラブ
視覚教材を活用するための液晶テレビ1台
- 四国地区ロータリー財団委員会
パソコン1台

あ と が き

冬を惜しみ、春を待つ。今はちょうどそんな時候
でしょうか。皆様のお手元に2012年度前半の活動
をまとめた「あわゆずぶれす」をお届けします。

お読みになって、ご意見ご感想をお寄せいただ
ければ幸いです。

(杜 美智)

発行/JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者/兼松 文子

編集責任者/山満十糸子

編集スタッフ/加村 匡子・玉置 房・辻 暁子・長町 順子
村松 幸子・杜 美智・安山 政子

印刷/徳島県教育印刷株

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2階
 (社)徳島県労働者福祉協議会内
 TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113
 E-mail jtmtoke@nifty.com
 URL http://homepage2.nifty.com/jtmtoke/